

岐阜県道路メンテナンス会議事務局

国土交通省 中部地方整備局 岐阜国道事務所
岐阜県 県土整備部 道路維持課
中日本高速道路(株) 名古屋支社 羽島保全・サービスセンター

「道路老朽化対策パネル展」を開催します

～安心・安全な道路施設を次世代に引き継ぐために～

記者発表資料

1. 内容

道路施設の現状とその老朽化対策の取り組みを、広く皆様にご紹介することを目的とした「道路老朽化対策パネル展」を開催いたします。
高度経済成長期に集中的に整備された橋やトンネル等の道路施設は老朽化が進んでおります。今後も、永く安心安全に道路施設を利用し続けるためには定期的な点検や補修作業を行うことが必要不可欠です。

2. 時期

平成29年11月30日(木) 14:00 ~
平成29年12月5日(火) 14:00

3. 場所

岐阜県土岐市 土岐市役所庁舎内 1F

4. 資料

①「道路老朽化対策」パネル (抜粋)

※11月30日(木) 13:30~14:30

12月5日(火) 13:30~14:30

上記の2日間については、

展示現場にてパネル展の内容をご説明させていただきます。



添付資料 1 枚

配布先

多治見市政記者クラブ、日刊建設工業新聞、日刊工業新聞社、建通新聞社、建設通信新聞

問い合わせ先

国土交通省 多治見砂防国道事務所

副所長

マツヤマ ナオト

松山 直人

TEL 0572-25-8020

イワ シゲヒト

道路管理課長

岩田 成人

TEL 0572-25-8027

道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル **#9910** (通話料無料・24時間受付)

○展示パネル(一例)

中部地整備管内(長野県除く) 点検実施状況

- 平成25年9月の道路法改正を踏まえ、道路管理者は、全ての橋梁、トンネル等について、5年に1回の近接目視による点検計画を策定。
- 平成28年度の点検実施率は、橋梁約27%、トンネル約18%、道路附属物等約27%
- 第三者被害の予防並びに路線の重要性の観点から、最優先で点検を推進する橋梁を規定

5年間の点検計画と平成26~28年度の実施状況(岐阜県・静岡県・愛知県・三重県)

施設種別	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
橋梁	11%	22%	24%	22%	21%
トンネル	16%	21%	18%	23%	22%
道路附属物等	17%	17%	24%	20%	22%

※平成26年度: 11% (11%) → 平成27年度実施状況: 22% (21%) → 平成28年度実施状況: 24% (27%) → 平成29年度実施状況: 22% (59%) → 平成30年度実施状況: 21% (59%)

橋梁の点検方針
コンクリート片の落下等による第三者被害の予防並びに路線の重要性の観点から、以下については、最優先で点検を推進

緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	跨線橋	緊急輸送道路を構成する橋梁
--------------	-----	---------------

各橋造物の点検実施状況(平成29年3月末時点)

施設種別	管理施設数	点検実施数	点検実施率
橋梁	103,611	27,509	27%
トンネル	1,186	213	18%
道路附属物等	6,215	1,702	27%

橋梁点検状況(管理者別)(平成29年3月末時点)

管理者	管理施設数	点検実施数	点検実施率
国土交通省	5,264	1,207	23%
高速道路会社	2,998	661	22%
地方公共団体	95,349	25,641	27%
合計	103,611	27,509	27%

予防保全を推進 メンテナンスサイクルの構築

- 点検は、維持管理を行う上で、重要な第一歩。
- 点検から始まる、診断、措置、記録というメンテナンスサイクルを構築して持続的に進めて行く事が重要です。



記録簿: 各種点検結果や補修等の履歴を記録保存

点検: 定期的に点検し、損傷状況を把握、診断

診断: 道路管理者の決定

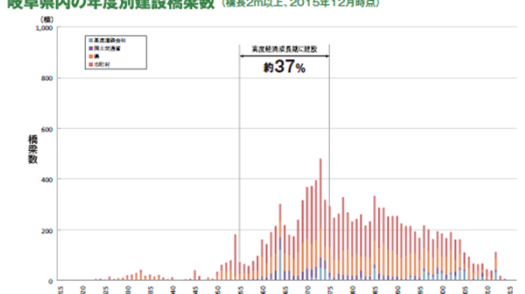
措置: 補修等の計画に基づき、効率的に補修等を行う

記録: 定期点検結果に基づき、専門家で損傷原因に関する所見をまとめ、対策区分を判定し、補修等の計画を策定

岐阜県内の橋梁も高齢化 建設後50年超が20%

岐阜県には国と県と市町村と高速が管理する橋長2m以上の橋梁は26,603橋、このうち建設後50年を経過する橋梁が、2016年9月時点で20%あります。しかし、高度成長期に建設された橋梁が多く、20年後には高齢化した橋梁の割合は66%に急増します。

岐阜県内の年度別建設橋梁数(橋長2m以上、2015年12月時点)



※高度経済成長期に建設: 約37%

岐阜県内の建設後50年を経過した橋梁の割合(橋長2m以上、2016年9月時点)

建設後50年を経過した橋梁の割合

建設後50年未満の橋梁の割合

高齢化橋梁の急増(20%→20年後66%)

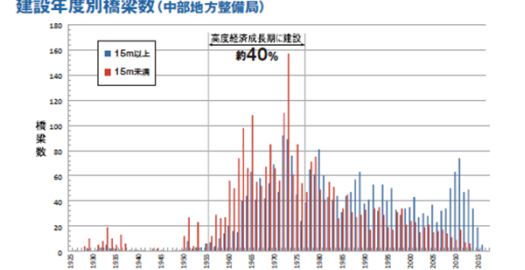
原因(2016年策)

年次	建設後50年を経過した橋梁の割合	建設後50年未満の橋梁の割合
現在(2016年策)	20%	80%
10年後(2026年策)	45%	55%
20年後(2036年策)	66%	34%

進む橋梁の高齢化 高齢化する橋梁

- 中部地方整備局が管理する橋梁約6,000箇所のうち、全体の約40%が高度経済成長期に建設

建設年度別橋梁数(中部地方整備局)



※高度経済成長期に建設: 約40%

- 建設後50年以上を経過した橋梁の割合は、現在23%、今後20年後は68%まで急激。

中部地方整備局の管理橋梁(橋長2m以上対象、2017年3月末時点)

建設後50年以上の橋梁

建設後50年未満の橋梁

年次	建設後50年以上の橋梁	建設後50年未満の橋梁
現在(2017年)	23%	1,246箇所
10年後(2027年)	48%	2,640箇所
20年後(2037年)	68%	3,716箇所